

# 第8回 技術フォーラム開催案内

(社)日本技術士会北海道支部 事業委員会

今年のフォーラムは、近年クローズアップされつつも、すっかり忘れられた感のある**技術伝承**について議論したいと思っております。講演して頂く技術者は、ベテラン、第一線、教育現場と様々な御立場で活躍されている方々です。フォーラムは、以下の要領で開催いたしますので、皆様の参加をお待ちしております。

## 1 開催日と場所

日時:平成22年2月24日(水) 13:00~17:00

場所:札幌ガーデンパレスホテル(2F丹頂の間) 札幌市中央区北1条西6丁目 TEL011-261-5311

## 2 一般課題

講演1)技術者としての一般知識 講演者)本間正広 技術士補(農業部門)

農業土木の過去と未来、アインシュタインの相対性理論、倍数定理について講演します。

講演2)低炭素社会を目指したグリーン成長戦略と技術士の役割

講演者)市村一志 技術士(建設部門):市村都市環境研究所

課題が山積している温室効果ガス削減への取り組みの現状を踏まえ、低炭素社会とは、低炭素社会の必要性、低炭素社会実現の方法、環境ビジネスの内容と戦略的な環境ビジネス、環境ビジネスの担い手、技術士の役割を述べる。

## 3 特別課題

「危ない！！過去を忘れた最新技術」をテーマに、先輩後輩、それぞれの世代における社会や学校教育の移り変わりを認識し、お集まり頂いた多くの技術者の皆様と、伝えないといけない技術、私たち技術士が果たすべき役割について考えたいと思います。

講演1)石戸重 技術士(総監 建設):ドーコン 技術審査室

最近の技術者のおかれている立場は、重々承知している。また、今の有様が最適解かもしれないが、ちょっと気になる点が無い訳ではない。団塊世代の一人として、あえておせっかいに話題提供する。

講演2)青年技術士交流委員会

(詳細未定)

講演3)小山田応一 技術士(情報)

「そのデータ正しいですか？」～最新技術で装飾された危うい信頼性～

希望の精度は、技術的に優れたの高精度の測定器、高精度の計算を行って、不要な桁以下を四捨五入して得られるわけではありません。測定手段や対象物を含めた系全体の検討が必要です。本発表では、技術依存によってデータの信頼性を損なう陥り易い「罨」について説明します。

講演4)栗山昌樹 技術士(総監 水道 建設):苫小牧工業高等学校 環境都市工学科(旧土木工学科)

苫小牧高専の技術者教育、学校運営、JABEE、アンケート結果を基にした高専卒業生の企業評価、技術者教育の将来的課題について述べる。

## 4 参加申込

参加希望者は、氏名、部門、所属、技術士会会員・非会員、意見交換会参加・不参加を明記し、平成22年2月19日(金)までに、下記宛 FAX もしくは Eメールでお申し込みください。

参加料(当日徴収)は、技術士会会員 1,000 円、非会員等(協賛会員含む)2,000 円です。またフォーラム終了後に意見交換会(会費 3,000 円)を開催しますので、多数の参加をお願いいたします。

【申込先】 日本技術士会北海道支部 事務局(出村)

E-mail: [hkd-eng@ipej-hokkaido.jp](mailto:hkd-eng@ipej-hokkaido.jp)

FAX:011-801-1618